



交通安全情報 No. 4

ストップ・ザ・交通事故

令和5年4月12日
警察本部交通部
交通総合対策センター

飲酒運転の防止！！

令和5年中(3月末)における道内で発生した飲酒運転を伴う交通事故は、**19件**発生しており、**2人**が亡くなっています。

昨年は**72件**発生しており、その内**4件**が死亡事故となっているなど、飲酒運転の根絶には至っていない状況にあります。

<飲酒が運転に与える影響>

飲酒により安全運転に必要な情報処理能力・注意力・判断力は低下し、ハンドルやブレーキ操作を遅らせて交通事故につながるリスクが高くなります。



「少量だから、
近距離だから大丈夫」
は絶対に許されません。

<飲酒運転の代償>

飲酒運転をした場合、懲役等の刑事罰、免許取消等の行政罰、死傷を伴う事故の場合は、民事上の多額の賠償を負うことにもなります。



それでも
飲酒運転しますか？

<二日酔い運転の防止>

飲酒量や飲酒時間によって、翌日にアルコールが残る場合があります。アルコールが分解される時間は、飲酒量や体格、体質、体調等によって異なります。運転開始前に**アルコールチェッカー**などを使用して、お酒が残っていないかしっかり確認しましょう。



<飲酒運転ゼロボックスの活用>

このQRコードからアクセスを！

北海道警察では、「飲酒運転をしている」などの**飲酒運転の情報**や**飲酒運転根絶に向けたアイデア**を受け付けていますのでご協力をお願いします。

※緊急性の高いものは**110番通報**をしてください。
道民皆さんで飲酒運転を根絶しましょう。



飲酒運転を「しなさい、させなさい、許さなさい、そして見逃さなさい」